

建築研究所ニュース



平成29年1月24日

平成29年3月3日（金）建築研究所講演会のプログラムが決定いたしました。

平成29年3月3日（金）東京・有楽町朝日ホールにて、建築研究所講演会を開催いたします。

日時 平成29年3月3日（金）10:30～16:20（開場 10:00）
会場 有楽町朝日ホール（東京・有楽町マリオン11階）
入場料 無料（事前登録不要です。入場は先着順とさせていただきます。）

なお、特別講演及び一般講演各演題のタイムスケジュールは、別紙ポスターをご覧ください。

1. 特別講演（東京大学名誉教授 坂本 功）

「熊本地震による木造住宅の被害から耐震設計を考える」と題して東京大学名誉教授坂本功先生の特別講演（15:20～）を予定しております。



1943年 徳島県生まれ
1966年 東京大学工学部建築学科卒業
1971年 同大学院工博士課程修了、工学博士
1971年 建設省建築研究所研究員
1973年 東京大学工学部助教授
1989年 同教授
1995年 同大学院工学系研究科建築学専攻教授
2006年 慶應義塾大学教授

現在、東京大学名誉教授、
一般財団法人日本建築防災協会耐震改修支援センター長

2. 一般講演

建築研究所における主な研究成果等、住宅・建築・都市分野における研究開発に関する最新の情報をいち早くご紹介いたします。

一般講演一覧

演 題	担当研究者
省エネ評価の高度化 －省エネ基準義務化をふまえて－	環境研究グループ 主任研究員 三浦 尚志
ドローン技術の動向と建築維持保全への利活用の検討	材料研究グループ 主任研究員 宮内 博之
建築ストック活用に向けた建築物の情報マネジメント技術に関する研究 と課題	建築生産研究グループ 主席研究監 高橋 暁
木材を利用した耐火構造の技術開発	防火研究グループ 上席研究員 成瀬 友宏
応急仮設住宅から災害公営住宅等の恒久的住宅への移行の実態と課題 －東日本大震災から5年－	住宅・都市研究グループ 主任研究員 米野 史健
平成 28 年熊本地震による建築物の被害調査及び要因分析等の対応	構造研究グループ 上席研究員 井上 波彦

3. パネル展示

会場ロビーでは、パネルを展示しております。午前の講演終了後にステージ上にて、各担当研究者がパネル展示を行う研究のポイントを説明します。その後、昼休みのコアタイムには、パネルの前でそれぞれの研究成果や今後の方針などについて説明を行い、皆様からのご質問に直接お答えいたします。

パネル一覧

パネル内容	担当研究者
平成 28 年熊本地震による益城町中心部の建物基礎・地盤被害と微動特性	構造研究グループ 主任研究員 新井 洋
平成 28 年熊本地震による木造建築物等被害	構造研究グループ 主任研究員 荒木 康弘
平成 28 年熊本地震による鉄筋コンクリート造等建築物被害	構造研究グループ 研究員 中村 聡宏
平成 28 年熊本地震による鉄骨造建築物等被害	構造研究グループ 研究員 三木 徳人
平成 28 年熊本地震による非構造部材の被害	構造研究グループ 主任研究員 石原 直
国際地震工学研修	国際地震工学センター 上席研究員 芝崎 文一郎 上席研究員 小豆畑 達哉 上席研究員 原 辰彦
個別分散型空調システムの実働エネルギー効率評価に関する研究	環境研究グループ 主任研究員 西澤 繁毅 専門研究員 ナボレオン アカサ エンテリア
住宅における居住者の通風・冷房行為に関する実態分析	環境研究グループ 主任研究員 羽原 宏美
木質内装空間の火災安全設計	防火研究グループ 主任研究員 鍵屋 浩司

散水設備による火災抑制効果の定量的評価手法の開発	防火研究グループ 研究員 野秋 政希
あと施工アンカーの引抜き特性に及ぼす供試体寸法および試験条件の影響	材料研究グループ 主任研究員 松沢 晃一
C L Tパネル工法実験棟と枠組壁工法6階建て実験棟の建設を通じた施工性検証	材料研究グループ 上席研究員 榎本 敬大
大規模な間仕切壁の耐震性に関する振動台実験と2次部材断面選定法の提案	建築生産研究グループ 主任研究員 石原 直
BIMを利用した確認審査業務の技術仕様案の研究開発と国際調査	建築生産研究グループ 上席研究員 武藤 正樹
縮小模型を用いた市街地火災実験	住宅・都市研究グループ 主任研究員 岩見 達也
都市計画の情報化・モニタリング技術の” 現在地”と”展望”	住宅・都市研究グループ 主任研究員 阪田 知彦

※上述の内容については急遽変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
企画調査課 今井
電話 029-879-0640
E-mail kikaku@kenken.go.jp

平成28年度 国立研究開発法人 建築研究所 講演会

日時：平成29年3月3日(金)
10時00分開場 10時30分開会

場所：有楽町朝日ホール
(有楽町マリオン11階)
東京都千代田区有楽町2-5-1

10:30	開会		
10:35	理事長挨拶 建築研究所 理事長 坂本雄三	13:35	木材を利用した耐火構造の技術開発 防火研究グループ 上席研究員 成瀬友宏
10:40	省エネ評価の高度化 —省エネ基準義務化をふまえて— 環境研究グループ 主任研究員 三浦尚志	14:05	応急仮設住宅から災害公営住宅等の恒久的住宅への 移行の実態と課題 —東日本大震災から5年— 住宅・都市研究グループ 主任研究員 米野史健
11:10	ドローン技術の動向と 建築維持保全への利活用の検討 材料研究グループ 主任研究員 宮内博之	14:35	平成28年熊本地震による建築物の 被害調査及び要因分析等の対応 構造研究グループ 上席研究員 井上波彦
11:40	建築ストック活用に向けた建築物の 情報マネジメント技術に関する研究と課題 建築生産研究グループ 主席研究員 高橋 暁	15:05	休憩
12:10	パネル展示紹介	15:20	特別講演「熊本地震による木造住宅の 被害から耐震設計を考える」 昭和54年(1979年) 東京大学名誉教授 坂本 功
12:25	昼休み パネル展示(16課題)	16:20	終了予定

特別講演

熊本地震による木造住宅の被害から耐震設計を考える 東京大学名誉教授 坂本 功

**坂本功
名誉教授の
プロフィール**

1943年 徳島県生まれ
1966年 東京大学工学部建築学科卒業
1971年 同大学院博士課程修了、工学博士
1971年 建設省建築研究所研究員
1973年 東京大学工学部助教授
1989年 同教授

1995年 同大学院工学系研究科建築学専攻教授
2006年 慶応義塾大学教授
現在、東京大学名誉教授、
一般財団法人日本建築防災協会耐震改修支援センター長



専門は、木造建築、建築構造学、耐震工学。著書に「地震に強い木造住宅(工業調査会)」(1997)、「木造建築を見直す(岩波新書)」(2000)等。
2003年に「木造住宅の耐震診断法の研究・開発および普及・啓蒙活動に関する業績」で、日本建築学会賞(業績)を受賞。



[主催・問い合わせ先]
国立研究開発法人 建築研究所 企画部企画調査課
TEL.029-879-0638
<http://www.kenken.go.jp>

- 入場料・講演会テキスト代は、無料。
- 名刺をご持参いただければ幸いです。
- 事前登録は不要です(入場先着順)。
- 席に限りがありますことをご了承下さい。